

地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

立少フェスティバル 冬

1 ねらい

- ・自然体験活動を通じ、自然や本所に親しみを感じる。また、家族での活動を通して、家族の絆を深める。

2 期日

令和7年2月8日(土)～9日(日)【1泊2日】

3 対象

幼児・小学生を含む家族

4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

20家族程度(約80名) / 28家族(90名) / 22家族(73名)

5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家職員  
法人ボランティア(9名)

6 後援・協力

後援：北日本新聞社  
協力：国立能登青少年交流の家  
立山町交流センター



7 日程

2月8日(土) 1日目

バス送迎利用のご家族

11:00 立博駐車場発車予定(第①便)

11:40 立博駐車場発車予定(第②便)

※乗車人数がいっぱいになり次第、第①便は出発。

自家用車で来所のご家族

11:15～12:00 立少にて受付

11:45～13:00 昼食(食堂)

13:00～16:00 オリエンテーション

活動①

16:30 タベのつどい

17:00～18:30 夕食(食堂)

18:00～20:30 夜の活動「温かい飲み物で心も体もあったまろう」

○たき火を囲もう

○巨大かまくらで家族団らん

○プレイホールで体を動かそう

○エントランスでカードゲーム等を楽しもう

18:00～20:00

18:00～20:30

17:00～21:00 入浴

21:30 就寝

活動

- ・クロカン ・かんじきツアー ・チューブそり
- ・しりすべり ・雪遊び、雪像づくり
- ・クラフト、館内遊び
- ・スノーモービル乗車体験ツアー

2月9日(日) 2日目	
7:30~8:30	朝食(食堂)
8:40	部屋点検
9:15~11:00	活動②
11:30~13:00	昼食(食堂)
13:00~14:30	活動③
14:30	活動終了 解散
14:40	自然の家発車予定(第①便)
15:20	自然の家発車予定(第②便)

活動

- ・クロカン
- ・かんじきツアー
- ・チューブそり
- ・しりすべり
- ・雪遊び、雪像づくり
- ・クラフト、館内遊び
- ・スノーモービル乗車体験ツアー

8 参加者からの事後アンケート

- ・自宅付近よりもはるかにたくさんの雪に囲まれて、子供はとてもしようでした。遊び疲れてへとへとなところに、職員さんやボランティアの方が元気に声をかけてくださって、子供も最後までがんばることができました。巨大かまくらでコーンスープを飲んだのが「夢が叶った」と喜んでいました。
- ・チューブそりの長いコースは、迫力があって楽しかったです。かまくらは想像の10倍大きくて、ランタンの明かりもとてもすてきでした。たき火で体も心も温まりました。
- ・たくさん雪遊びができました。バス移動もいつもと違い、雪の大谷を通っている気分でした。時間いっぱい楽しみました。ボランティアのお兄さんお姉さんと一緒に活動するのが楽しいようで、子供たちは喜んでいました。このようなイベントのときにしかできないことができるので、参加できてよかったです。また、思いもよらなかったバレンタイン企画が嬉しかったです。脱出ゲームや謎解きが大好きな家族なので、子供と一緒に楽しんでいました。

9 成果

- ・新たに「チューブそりロングコース」「エアートランポリン」「スノーモービル乗車体験ツアー」を取り入れた。ロングコースは、シーズンのはじめから整備を行い、研修支援団体にも提供し試行することで、より安全に参加者が活動できるようにできた。
- ・夜の活動は、「立少フェスティバル～芦峠寺オープンデー」のように、家族で自由に選んで行うことで、ゆったりと家族で楽しむことができ、たき火では、家族同士の交流が生まれた。また、巨大かまくらを設置してライトアップを楽しんでもらった。たき火を囲んだり、かまくらの中に入ったりしてホットドリンクを飲み、温まることができた。
- ・バレンタインイベントとして、ミッションを用意し、それを達成できた子供、家族にチョコレートをプレゼントし、好評だった。

10 今後の課題

- ・バス利用の方のための駐車場が、フェスティバルの前々日に大雪のために使えないことが分かった。急遽、立山博物館に依頼し、芦峠公民館前の駐車場利用の承諾を得て、当日利用したが、クレームが入った。大雪を考慮したバス駐車場の検討が必要である。別の駐車場を開拓、依頼するのがよい。
- ・例年以上の積雪のために、フィールドの圧雪、除雪に時間がかかり、準備に十分な時間がかけれなかった。雪の状況は読めない部があるので、できる限りの見通しをもち、雪の状況に合わせて、できることを最大限に行う。

